

Life & Work  
わたしの  
天職

人と海をつなぐ  
楽しい拠点に

おおくほはるひこ  
大久保始彦さん(69)  
千葉県・小湊教会



nonkey surf & sports  
〒296-0002 千葉県鴨川市前原 358-26  
電話 04-7093-4991



山に囲まれた地形の影響で、太平洋から吹く風が表情豊かな波をつくる千葉県鴨川市の前原海岸。サーファーを魅了する波が打ち寄せるこの場所で、大久保始彦さんは「nonkey surf & sports」を営んでいる。五十年以上続く老舗のサーフショップだ。店内ではサーフボードやウエットスーツなどのサーフィングッズ、大久保さんがデザインしたTシャツやバッグなどのオリジナル商品が販売されている。目の前には海が広がる。潮の香りに鼻をくすぐられ、海を全身で感じられるロケーション、そして波の音が届く店内。この店の自慢だ。

大久保さんは二代目オーナーで、初めは客として訪れていた。店は一度閉じられたが、大久保さんが二十七歳のときに先代オーナーと共同で再びオープンした。その数年後に店を譲られ、今日に至る。

「サーファーとして利用していたので、客としての視線を大事にしています。リーズナブルな値段で喜んでもらい、また来たいと思ってくれたらうれしい」

初めて訪れる人には丁寧な、常連客には友人のような気さくさで話しかける。「今日はいい波がきているね」と波の状態を伝えることも忘れない。

会話の大切さは立正佼成会小湊教会で学んだ。法座で会員たちの話を聞き、相手の立場になって受け止めることで人の輪が広がると感じた。大久保さんは昨年、壮年部長のお役を拝命したばかり。「もっと教えを学び、仕事にも生かしていきたい」と目を細める。

十三年前、店の隣に「NONKEY'S CAFE」を開店した。妻・具美さん(67)が娘・裕美さん(37)と、飲み物と軽食を提供する。イチオシはパティシエだった父から譲り受けたレシピで作ったピザ。テラス席で海を眺めながら飲食を楽しめる。

「佼成会の教えを生かしながら、今まで通りお店を続けていきたい」と大久保さん。サーフショップとカフェで、海を訪れた人々が英気を養ってくれればと願う。その熱意は波のように絶えることを知らない。

\*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」  
<https://rikkanokai.jp/community/>  
7月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧になれます。

